

# 地域に寄り添う家庭医 よしの ひろし 吉野 弘 さん



## PROFILE

よしの ひろし(白羽在勤・44)  
市家庭医療センター「しろわクリニック」  
所長兼医師(指導医)。休日は子どもと  
キャッチボールや卓球をする家庭的なお  
父さん。

### 初代所長に就任

11月6日に開院した市家庭医療センター「しろわクリニック」の初代所長を務める吉野弘医師。内科や小児科を専門としていたが、平成26年からは総合的な診療をする家庭医療を担っている。

家庭医は内科や精神科、小児科など診療科目に関わらずあらゆる病気を扱う。年齢も問わず診療するため、赤ちゃんから高齢者まで家族みんなで利用でき、どんな症状でも相談しやすいのが特徴だ。吉野医師は「さまざまな病気に対応できるので、地域に住む人々のかかりつけ医としても役立ちたい」と話す。

### 思いに寄り添う医療を

吉野医師は幼い頃、目が悪く通院していた経験から、自分も多くの人の力になりたいと医師を目指し始めた。

医師となった当初、母校の「卒業後9年間は出身県の医療に携わる」という方針により、伊豆地方でへき地医療に身を投じた。片道2時間かかる大病院への搬送は患者にも医師にも負担が大きく、予

防医療の重要性を痛感することとなった。「身体機能が低下するなど外出が困難な人にも外来通院以外の選択肢を提案できなかったことは、今でも悔いが残る。もっと地域に寄り添う医師になりたいと考えた」と家庭医を目指したきっかけを語る。

### 地域の健康をサポート

これから始まる市での活動について「地域の人に、ここに住んでいてよかったと思ってもらえるよう、健康であるためのお手伝いをしたい。まだ構想段階でしかないが、ぶるなどの公共施設と連携して健康増進プログラムを組めたら素晴らしいと思ってい」と語ってくれた。

患者に寄り添った医療を第一とする吉野医師は「大事な健康情報をあちこちに分散させないために、なんでも相談できるかかりつけ医を、ここでも他でもないののでつくってほしい」と呼び掛けている。

患者の健康や悩みに親身に向き合う吉野医師が医療の一端を担ってくれることで、市民の元気で笑顔あふれる姿が増えることを期待したい。